

一 般 檢 査 (尿)

試料 51、52 について下記の内容で実施いたします。

1. 試料の内容

試料……51(凍結乾燥試料)

52(凍結乾燥試料)

測定日は必ず入力してください。

測定までは冷蔵(2～10°C)で保存してください。

フォトサーベイは Web よりダウンロードしてください。

2. 実施項目

1) 尿定性検査

71. 尿蛋白定性 (試料 51・52)

72. 尿糖定性 (試料 51・52)

73. 尿潜血反応 (試料 51・52)

2) 尿定量検査

74. 尿蛋白定量検査 (試料 51・52)

75. 尿糖定量検査 (試料 51・52)

3) 尿沈渣検査

76. 写真による沈渣成分の判定、髄液細胞の算定 (フォトサーベイ)

3. 実施方法

①試料 51・52 の測定

1) 各試料に精製水 10mL を加え溶解します。

2) 10 分間静置後、静かに転倒混和し内容物を完全に溶解します。

3) 測定直前に再度、10 回ほど転倒混和します。

4) 定量検査に必要な量を採取する。

5) 試料を試験管に分注する。

6) 定性検査を実施する。多項目試験紙を使用する場合、尿がすべての項目

に浸透していることを確認してください。

* 注意事項

1) 溶解させる際には激しく転倒混和しないでください。

2) 測定する際には試験紙部分を完全に 1～2 秒間浸し、容器のふちやティッシュペーパーなどに試験紙を軽く当て、試験紙についた余剰尿を取り去ります。

3) 多項目試験紙で測定する場合には 5 回を限度として、それ以上は使用しないでください (試薬の溶出で検査結果に影響を及ぼすため)。

4) 溶解後の安定性は室温で 30 分です。

②フォトサーベイ

4枚の尿沈渣写真について赤血球形態は5択から、その他の沈渣成分はフォトサーベイ結果コード（表6）から選択してください。このコード表は「尿沈渣検査法2010、並びに医学検査 Vol.66 No. J-STAGE-1 尿沈渣特集 2017」を参考に加筆して作られた表です。沈渣成分の回答だけでなく、そう判断した理由を表7から3個以内で選択し、優先順位の高い順にコードで回答してください。写真5は髄液の有核細胞数、単核・多形核の細胞数、その詳細分類を回答してください。

4. 測定結果の入力

- ①尿定性項目は、定性表記での回答をメーカー別に集計・評価を行います。表1試験紙・機器コードを必ず入力してください。目視判定施設は近似値法で判定をしてください。日常検査で中間法（1+～2+といった表現法）を使用している目視判定施設は、判定法の手引きを熟読の上（表2下段）、表2のコード番号で回答してください。蛋白定量・糖定量は所定の実測値を回答してください。機器による判定を行っている施設で可能ならば蛋白・糖・潜血に関して反射率を入力してください。
- ②蛋白定性・糖定性・潜血定性・蛋白定量・糖定量が評価項目ですが、試料51・試料52とも回答された施設のみ評価対象となりますのでご注意ください。
- ③例年、検査法・試薬などの入力ミスや入力漏れで評価できない施設が若干認められます。結果だけでなくすべての項目を送信前に再確認してください。
- ④入力画面は免疫学的便へモグロビンと共通です。

5. フォトサーベイについて

試料を用いた尿沈渣のカウントが実施できないため、このフォトサーベイに多くの施設が参加されることを望みます。

成分決定の要素までサーベイで集計する試みは全国でも例が無く、詳細に解析することで、多くの情報が研修会などに反映されています。なおフォトサーベイは評価しませんのでご了承ください。ちょっと面倒かもしれません、腕試しもかねて挑戦してみてください。

6. 評価について

平成15年第33回埼玉県医学検査学会一般検査シンポジウム、平成16年第53回日本医学検査学会一般演題「埼玉県医師会コントロール管理サーベイの歩み第一報～第三報」を踏まえた評価方法を行います。

今年度もメーカー基準値を正解とし、評価判定を行います。

- 1) 定性項目：蛋白、糖、潜血についてメーカーごとに判定します。
各メーカーが、それぞれの試料の第1基準値、第2基準値を提示します。
 - 2試料とも第1基準値の場合A評価。
 - 一方の試料が第1基準値で、もう一方が第2基準値の場合でもA評価。
但し第2基準値が1試料に2つの場合はB評価。
 - 2試料とも第2基準値の場合ならB評価とします。

○ その他はC評価、但し低濃度・高濃度逆転の場合はD評価。

○ 試料の取り違いや明らかな入力ミスはD評価となります。

メーカーや機器が不明な場合は集計から除外され、評価もD評価となるので注意してください。判定に疑義がある場合は報告書を熟読してください。

*サーベイ試料濃度によって判定方法の影響が示唆される場合は、個別に再評価されることがあります。

2) 蛋白定量：メーカー基準値を正解とし評価を行います。基準値±5%未満をA評価、基準値±5%以上10%未満をB評価、基準値±10%以上15%未満をC評価、15%以上をD評価とします。試薬や機器が不明な場合は集計から除外されます。

3) 糖定量：3SD反復切断によって乖離施設を除外したのち、基準値±5%未満をA評価、基準値±5%以上10%未満をB評価、基準値±10%以上15%未満をC評価、15%以上をD評価とします。

4) フォトサーベイ：評価しません。各自で正誤を確認してください。

- 71. 尿蛋白定性・半定量
- 72. 尿糖定性・半定量
- 73. 尿潜血

1) 測定法の入力

実際に使用した試験紙もしくは機器を尿定性試験紙・機器コード表（表1）より選択してください。試験紙以外を使用する場合は「999」を入力してください。

2) 結果

各施設の判定方法で判定し、該当する定性値を表2よりコードで回答してください。

* 試験紙目視判定の施設は、「判定法の手引き」（表2の下段）を熟読の上、貴施設で用いている判定法を入力してください。

(ただし今回のサーベイの回答は近似値法で回答してください)

* 定性機器判定の施設で「反射率による精度管理」が可能な機種を使用中の施設は「蛋白・糖・潜血」について反射率を入力してください。

74. 尿蛋白定量

試料51・52

1) 測定法

尿蛋白定量法コード表3より選択してください。715. 740. 799を選択した施設は、メーカー名、測定方法名を入力してください。

またメーカー基準値を目標値としますので、係数を乗じている施設は、係数をはずした結果で回答してください。

測定方法

試料51

試料52

75. 尿糖定量

試料51・52

1) 反応系

尿糖定量法の反応系をコード表（表4）より選択してください。

コード

2) 日常検査について

パラメーターについてコード表（表5）でお答えください。

直線性の上限値を入力してください。単位はmg/dlで統一します。

パラメーターについて 表5のコードで

希釈倍数 (前希釈を選択した施設のみ記入)

直線性の上限値

3) 結果

結果は実数で回答してください。

単位はmg/dlで統一します。有効数字は小数点以下四捨五入で回答してください。

試料51

試料52

76. フォトサーベイ

Web フォトサーベイデータ 5：一般検査についてお答えください。今回は尿沈渣に見られた沈渣成分について 4 題と、髄液の細胞数について 1 題です。

写真 1 は問 1 に示す赤血球形態①～⑤より選択し数字を回答してください。

写真 2～4 の沈渣成分はコード（表 6）を用い回答してください。また沈渣成分を選択した理由も表 7 のコード（3 項目以内）で回答してください。なお沈渣成分の分類は尿沈渣検査法 2010、並びに医学検査 Vol. 66 No. J-STAGE-1 尿沈渣特集 2017 に準じてください。

写真 5 は髄液の細胞数についての出題です。単核・多形核の細胞数、その詳細分類を回答してください。（詳細分類を通常業務で行なっていない施設も挑戦してみてください）

問 1 写真 1-A、1-B は異なる患者尿中に認められた成分です。写真に示す尿中の赤血球形態を判定してください（無染色、強拡大）

- ① A：糸球体型赤血球 と B：非糸球体型赤血球
- ② A：非糸球体型赤血球 と B：糸球体型赤血球
- ③ A：糸球体型赤血球 と B：糸球体型赤血球
- ④ A：非糸球体型赤血球 と B：非糸球体型赤血球
- ⑤ 判定不能

問 2 写真 2 の成分について回答してください（A：無染色、B：S 染色、強拡大）

50 歳代 男性 泌尿器科 尿定性成績：潜血(1+) 白血球(2+) 蛋白(1+)

問 3 写真 3 の成分について回答してください（A：無染色、B：S 染色、強拡大）

30 歳代 女性 腎臓内科 尿定性成績：潜血(3+) 白血球(-) 蛋白(2+)

問 4 写真 4 の成分について回答してください（A：無染色 B：S 染色、強拡大）

75 歳 男性 泌尿器科 尿定性成績：潜血(1+) 白血球(-) 蛋白(-)

問 5 写真 5 の髄液の細胞数について回答してください（サムソン染色、強拡大）

70 歳代 女性 脳神経内科

一般検査（免疫学的便ヘモグロビン検査）

試料 56、57 について下記の内容で実施します。

1. 試料内容（粉末試料と溶解液がセットになっています）

試料……56-A（粉末試料） 56-B（溶解液）

57-A（粉末試料） 57-B（溶解液）

試料は受領後、内容を確認し冷蔵保存してください。

2. 施設評価法

施設評価基準値は同一試料による各メーカー測定値を評価基準値とします。各参加施設の使用キット、機器ごとにメーカー評価基準値で評価します。

定性検査の評価基準値はキットごとに設定します。2濃度とも評価基準値と一致した場合A評価、1濃度はB評価、1濃度も一致しない場合はD評価とします。

定量検査の評価基準値は測定機器ごとに設定します。評価基準値±25%をA評価、評価基準値±100%をB評価、評価基準値±200%をC評価、それ以上はD評価とします。

また定性検査、定量検査ともにC評価、D評価に相当する施設にはデータ回収後速やかに報告いたします。試料の再送付による再検査及び誤差要因の確認の協力をお願いいたします。

※施設評価法を理解の上サーベイにご参加ください。

3. 実施項目

1) 免疫学的便ヘモグロビン検査（以下便 Hb 検査）

目視判定または機器判定で集計

4. 実施方法

試料 56、57 の調整法

試料は測定時に調整します。調整後の試料は手順に従い速やかに検査してください。

※粉末試料および溶解液は冷蔵保存で長期安定です。しかし試料調整後は条件によって添加ヘモグロビン濃度が失活する可能性があります。試料調整誤差を抑えるため試料作成手順および測定時間を厳守してください。

- 1) 各粉末試料 A にピペット等を用いて溶解液 B を全量加える。
- 2) 3 分間そのまま静置する。混和の目安となる添加色素が縦縞状に現われます。
- 3) 付属のヘラで添加色素が均一になるまで十分な混和を行う。

※半練状の試料です。容器の底からものぞきこみ、試料全体が均一であることを確認しながら十分に混和してください。

- 4) 混和後ふたをして 15 分間静置します。
- 5) 採便スティックでサンプリングする前に、さらに十分な混和を行ってください。
※採便スティックでの採取は測定結果に大きく影響します。採便スティックの溝が充分に埋まり採取量が過少にならないよう注意してください。また、すりきりしない部分に試料が付着すると多めに採取されることになります。余分な試料

を除去するすりきり機能について、採便容器の特徴を確認してください。

- 6) 採便容器のまま採取後 30 分静置してください。
- 7) 日常検査と同様に便 Hb 検査を実施します。

4. 報告書の入力

1. メーカー名

メーカー名をコード表（表 8）より選択してください。

2. 使用キット名

目視判定は定性キット名、機器判定は試薬名、測定機器名を入力してください。

3. 測定値の回答

目視判定は、表 9 免疫学的便 Hb 検査結果コードより結果コードを回答してください。

機器判定は、表 9 免疫学的便 Hb 検査結果コードより結果コード（自施設基準値での判定結果）と定量値（n g / m l）を回答してください。

4. アンケートにお答えください（記載例を参考に入力してください）。

- 1) 日常精度管理は実施していますか？

記載例：実施していない。

記載例：メーカーコントロールを使用し実施している。

- 2) 昨年度参加した便 Hb 検査サーベイを記載してください。

記載例：埼玉県医師会と日臨技精度管理

- 3) 1か月間の検査件数は？

記載例：300 件／月

- 4) 以下は機器判定の施設にお聞きします。

①キャリブレーションの実施状況について教えてください。

記載例：毎週月曜日実施

記載例：試薬ロットが変わることに実施

②コントロールの測定方法は？

記載例：1 日 1 回 2 濃度（または 1 濃度）コントロールを測定。

記載例：検体測定バッチごとに 2 濃度（または 1 濃度）コントロールを測定。

③自施設カットオフ値の設定方法もしくは根拠となったものは？

記載例：文献参考値

④便 Hb 検査の標準化が実施された場合には対応できますか？また対応の問題点を記入してください。

記載例：検診カットオフ値の変更になり問題があるが、標準化には積極的に対応する予定である。

- 5) 便 Hb 検査サーベイ、今後の標準化等ご意見やご要望を入力ください。

ご協力ありがとうございました。

表1 試験紙・機器コード

	1 1 0	目視判定
シーメンス	2 1 1	クリニテック ノーバス
	2 1 2	クリニテック ステータス
	2 1 3	クリニテック アドバンタス
	2 1 4	クリニテック500
	2 1 9	その他
	1 2 0	目視判定
ロシュ	2 2 8	その他
	1 3 0	目視判定
栄研化学	2 3 1	U S 2100R/2200
	2 3 2	U S 2300
	2 3 3	U S 3100R/US3100Rplus
	2 3 4	U S 3200/US3300
	2 3 5	U S 3500
	2 3 6	U S 3600
	2 3 7	U S 1000
	2 3 8	U S 1200
	2 3 9	U S 1300
	2 4 0	その他
富士フィルム和光純薬	1 4 0	目視判定
	2 4 1	プレテスターRM-805
	2 4 9	その他
キャノンメディカル（旧：ミナリスマティカル）	1 5 0	目視判定
	2 5 1	機器すべて
三和化学	1 6 0	目視判定
	2 6 0	ビジュアルリーダー
アークレイ	2 6 1	オーションマックス AX-4280
	2 6 2	オーションマックス AX-4030
	2 6 3	オーションハイブリッドAU-4050
	2 6 4	オーションマックス AX-4060/AX-4061
	2 6 5	ポケットケムUA PU-4010
	2 6 6	オーションイレブン AE-4020/AE-4021
	2 6 7	オーションジェット AJ-4270
	2 6 8	オーションイダテン AE-4070
	2 6 9	その他
	2 7 0	目視判定
テルモ	1 8 0	目視判定
その他のメーカー	1 9 9	目視判定
	2 9 9	機器すべて

表2 蛋白・糖・潜血定性・半定量結果コード

コード番号	定性値
0 1	—
0 2	+-
0 3	1+
0 4	2 +
0 5	3 +
0 6	4 +

J C C L S 法に準じ判定してください。

蛋白 1+ 30 mg/dl

糖 1+ 100 mg/dl

潜血 1+ ヘモグロビン 0.06mg/dl

今年度も各試験紙の定性表記で回答してください。

人工試料なので定量値に紛らわされず、試験紙の判定をコードで回答してください。

判定法の手引き

目視判定法には、現在、切り下げ法、切り上げ法、近似値法があります。たとえば試験紙が色調表の「+」と「2+」の間の色調を示したとき、

- 1) 「+」 : 切り下げ法
- 2) 「2+」 : 切り上げ法
- 3) 「+」か「2+」どちらか近いと思われる方 : 近似値法
という判定の仕方です。

施設で統一した判定法を用いるようにしましょう。

- 4) 「+」～「2+」 : 中間法
このような範囲を指定したり、中間半定量値を指定する方法は使用は望ましくありません。

- 5) 今回のサーバイではメーカー基準値を用いる為、下記の点に注意し近似値法で回答して下さい。
カットオフ値（±や1+など一番低い陽性値）未満は切り下げて(-)で、それ以上は近似値法で判定してください。

目視判定法の施設は、日常使用している判定法を入力してください。

1. 切り下げ法
2. 切り上げ法
3. 近似値法

表3 尿蛋白定量法コード表

711	スルフォサリチル酸光電比濁法 (K C 法)
712	トリクロル酢酸法 (T C A 法)
738	ロシュ (塩化ベンゼトニウムクロライド法)
715	その他の比濁法 (方法名を入力してください)
721	和光 (マイクロTP-テストワコー 2) 用手法
722	和光 (マイクロTP-AR 2) 自動分析法
723	和光 (マイクロTP-AR 2) クイックラン
724	和光 (マイクロTP-テストワコー 2) 用手法だが 能書とは違う反応時間、試薬/試料の割合で測定(評価外) 注 : マイクロTP-テストワコー 2 用手法の試薬を用い 自動分析器で測定を行っている場合も722を選択してください
736	シーメンス
737	シスメックス (ピロカテコールバイオレット)
738	ロシュ (塩化ベンゼトニウムクロライド法)
739	セロテック (U T P-L)
740	その他のメーカー色素法 (メーカー名も入力)
758	免疫比濁法 (微量アルブミンの測定系での参加は出来ません)
799	その他の定量法 (メーカー名も入力)

*微量アルブミンの測定系での参加はお断りします

表4 尿糖定量法コード表

8 1	電極法
8 2	酵素法（自動分析機器）
8 3	酵素法（用手法）
8 4	ドライケミストリー
8 5	O T B 法
8 6	その他の定量法

表5 パラメーターについて

9 1	原液のまま測定している
9 2	検体前希釀をした後、測定している
9 3	検体量を減量して測定している

表6 フォトサーベイ結果コード

非上皮細胞類（血球類、大食細胞など）		円柱類	
0 1	赤血球	2 1	硝子円柱
0 2	白血球	2 2	上皮円柱
0 3	大食細胞（マクロファージ）	2 3	顆粒円柱
1 0 1	非糸球体型赤血球（均一赤血球）	2 4	ろう様円柱
1 0 2	糸球体型赤血球（変形赤血球）	2 5	脂肪円柱
1 0 3	赤芽球	2 6	赤血球円柱
1 1 1	白血球（好中球）	2 7	白血球円柱
1 1 2	白血球（好酸球）	2 8	空胞変性円柱
1 1 3	白血球（好塩基球）	2 9	塩類・結晶円柱
1 1 4	白血球（リンパ球）	3 0	大食細胞円柱
1 1 5	白血球（単球）	3 0 1	フィブリン円柱
1 1 6	白血球（異型リンパ球）	3 0 2	ヘモジデリン円柱
1 1 7	白血球（輝細胞）	3 0 3	ミオグロビン円柱
1 1 8	白血球（淡染細胞）	3 0 4	Bence Jones蛋白円柱
1 1 9	白血球（濃染細胞）	3 0 5	幅広円柱
1 2 0	その他の非上皮細胞類	3 9 9	分類不能・その他の円柱
上皮細胞類（基本的上皮、変性細胞など）		微生物類・寄生虫類	
1 1	尿細管上皮細胞	3 1	細菌
1 2	尿路上皮細胞（移行上皮細胞）	3 2	真菌
1 3	円柱上皮細胞	3 3	原虫（トリコモナス）
1 4	扁平上皮細胞	3 4	寄生虫
1 5	卵円形脂肪体	3 5	寄生虫卵
1 6	細胞質内封入体細胞	4 0 1	球菌
1 7	核内封入体細胞	4 0 2	桿菌
1 8	ウイルス感染細胞	4 1 1	酵母様真菌
2 0 1	尿細管上皮細胞（ヘモジデリン沈着）	4 2 1	原虫（トリコモナス以外）
2 1 1	尿路上皮細胞（表層）	4 3 1	蠕虫（ビルハルツ住血吸虫卵）
2 1 2	尿路上皮細胞（中深層）	4 3 2	寄生虫卵（その他）
2 2 1	円柱上皮（子宮内膜）	4 4 1	ダニ（卵を含む）
2 2 2	円柱上皮（前立腺上皮細胞）		塩類・結晶類
2 3 1	扁平上皮細胞（表層）	4 1	無晶性尿酸塩
2 3 2	扁平上皮細胞（中深層）	4 2	シュウ酸Ca結晶
2 3 3	扁平上皮細胞（クルーセル）	4 3	尿酸結晶
2 3 4	扁平上皮細胞（裸核状）	4 4	ビリルビン結晶
2 4 1	細胞質内封入体細胞（回腸導管術後尿）	4 5	シスチン結晶
2 4 2	ヒトボリオーマウイルス感染細胞	4 6	コレステロール結晶
2 4 3	ヒトパピローマウイルス感染細胞	5 1	無晶性リン酸塩
2 8 1	分類不能の細胞	5 2	リン酸Ca結晶
異型細胞		5 3	リン酸アンモニウムMg結晶
2 6 0	異型細胞	5 4	尿酸アンモニウム結晶
2 6 1	異型細胞（悪性細胞を疑う）	5 5	炭酸Ca結晶
2 6 2	異型細胞（尿路上皮癌細胞の疑い）	5 0 1	2,8-ジヒドロキシアデニン結晶
2 6 3	異型細胞（扁平上皮癌細胞の疑い）	5 0 2	薬剤結晶
2 6 4	異型細胞（前立腺癌細胞の疑い）	5 0 3	ヘマトイジン結晶
2 6 5	異型細胞（大腸癌細胞の疑い）	5 9 9	その他の結晶
2 6 6	異型細胞（腺癌細胞の疑い）		
2 6 7	異型細胞（小細胞癌細胞の疑い）	6 0 1	精子
2 6 8	異型細胞（白血球系悪性細胞の疑い）	6 0 2	精液成分（性腺分泌物）
2 9 9	異型細胞（上記以外の悪性細胞の疑い）	6 0 3	類でんぶん小体
		6 0 4	レシチン顆粒
		6 0 5	ヘモジデリン顆粒
		6 0 6	花粉
		6 0 7	混入物（繊維・紙）
		6 0 8	混入物（でんぶん粒）
		6 0 9	便由来混入物
		6 1 0	マルベリー小体
		6 1 1	その他の成分

細胞・円柱の分類について分類は尿沈渣検査法2010、並びに医学検査Vol. 66 No. J-STAGE-1 尿沈渣特集2017を参考にした。

2桁で記入された成分は的確に分類すること。

3桁のコードは詳細分類です。かつて内のコメントが可能で、実際に同様の報告をしている施設は、3桁回答に挑戦してみてください。

表7 沈渣成分を決定した特徴コード

血 球	形 状	封 入 物
101: 円盤状 102: 球状 103: 膜部顆粒成分凝集状 104: ドーナツ状不均一 105: 有棘状不均一 106: 委縮状 107: 膨化状、脱ヘモグロビン状 108: コブ状 109: 大小不同がある 110: 全体的に多彩 111: 全体的に均一 112: 不染性(灰白色調) 113: 淡染性 114: 濃染性 115: 顆粒状 116: 单核 117: 多核	301: 多稜形 302: 円形・類円形 303: 円柱状 304: 有尾状 305: 洋梨状 306: 紡錐状 307: 線維状 308: アメーバ偽足状 309: 角柱・角錐台状 310: ヘビ・オタマジヤクシ状	391: 脂肪を封入 392: 封入体がある
円 柱	色 調	核 所 見
201: 淡青色～青色 202: 赤紫色 203: 赤紫色～青紫色 204: 青紫色 205: 染色不良 206: 黄色調 207: 光沢がある 208: 切れ込み 209: 蛇行・屈曲 210: 顆粒状 211: 空胞状 212: イクラ状 213: 毛玉状 214: 幅が 60 μm 以上 215: 赤血球を 3 個以上封入 216: 白血球を 3 個以上封入 217: 脂肪顆粒を 3 個以上封入 218: 上皮細胞を 3 個以上封入 219: 大食細胞を 3 個以上封入 220: 卵円形脂肪体を封入 221: 塩類・結晶を封入 222: 線維状 223: 封入物が 2 個以下	321: 白色 322: 灰白色 323: 黄色調 324: 透明感がある 325: 光沢がある 326: 染色性良好 327: 不染性	401: 円形 402: 馬蹄形 403: 多核 404: 裸核状 405: 濃縮状 406: 小型の核 407: N/C比が高い 408: 核がはつきりしない 409: 核中心性 410: 核偏在性 411: 核のはみ出し 412: 非薄な核縁 413: 破線状核縁 414: 核縁の肥厚 415: 核形不整がある 416: 核濃染性 417: 不均等な染色性 418: すりガラス状 419: 著明な核小体 420: 核分裂像 421: 核内封入体
辺 縁 構 造	厚 み	集 塊
	341: 非薄な細胞質 342: 厚い細胞質	451: シート状 452: 結合性が強い 453: 分化が見られる 454: 花冠状配列 455: 均一な核間距離 456: 不規則重積性 457: ほつれるような結合性 458: 核間距離の乱れ 459: 相互封入像
表 面 構 造		患者情報・定性結果
	351: 直線的 352: 曲線的 353: 鋸歯状 354: 棘突起状 355: 辺縁明瞭 356: 辺縁不明瞭 357: 綿菓子状	501: 若年齢 502: 高齢 503: 男性 504: 女性 505: カテーテル尿 506: 尿路変更術後 507: 高蛋白尿 508: 潜血陽性・血尿 509: ビリルビン陽性
	371: 均質状 372: シワ状 373: くぼみ状 374: ひだ状 375: 顆粒状 376: 泡沫状 377: 漆喰状 378: 空胞状 379: 渦巻状	

細胞を決定した理由をコードで選択してください

分野は問わず、理由付けの強い順に3つまで選択してください。

表8 免疫学的便Hb検査メーカーコード

11	アルフレッサファーマ株式会社
12	ミズホメディア
13	栄研化学株式会社
14	キヤノンメディカルダイアグノスティック ス株式会社（旧：ミナリスメディカル）
15	富士フィルム和光純薬株式会社
16	その他

表9 免疫学的便Hb検査結果コード

1	(-)・陰性
3	(+)・陽性

問い合わせ先

尿一般担当

・埼玉医科大学病院

中央検査部

深田 茂則

TEL 049-276-2040

FAX 049-276-1440

E.mail: shige@saitama-med.ac.jp

便潜血担当

・埼玉県済生会川口総合病院

臨床検査科

藤村 和夫

TEL 048-253-8506

FAX 048-250-2388

E.mail: f.kazuo.0818@hotmail.co.jp

電話での問い合わせは15時以降にお願いします。